

# 第4期がん対策推進基本計画策定の これまで経緯と今後の スケジュール

SOBUE Tomotaka

祖父江 友孝

大阪大学大学院 / 国立がん研究センター



本年度は第3期がん対策推進基本計画の最終年度であり、6月に中間評価報告書が発出された。がん対策推進協議会は、第80回(6/30)までが旧メンバーで開催され、第81回(9/5)からは新たなメンバー構成で第4期計画策定作業が開始された。新会長には土岐先生(日本癌治療学会理事長、大阪大学医学系研究科消化器外科教授)が選出された。以降、かなり過密なスケジュールで計画案が検討され、第87回(12/7)で概ね計画案の検討が終了して、以降の調整が会長預かりとなっている。今後、省庁や国会への説明を経て、2023年3月には閣議決定されることが予定されている。

私自身は、昨年9月から国立がん研究センターがん対策研究所副所長を兼務している。がん対策研究所は、(旧)社会と健康研究センターと(旧)がん対策情報センターが統合されてできた組織であり、社会医学分野の力を結集して課題解決に取り組むことが期待されている。そのために複数の組織を巻き込んだ横断的プロジェクトを企画し、その最初のプロジェクトとして「次期計画プロジェクト」を立ち上げた。がん対策基本計画および健康日本21の双方が次期計画を策定する時期にあり、がん対策研究所が丸となって取り組むテーマとして絶妙なタイミングであったと思う。昨年10月にプロジェクトとして承認され、まず両計画に関係する情報について、メンバー間の知識の平準化を進める

ために、隔週に1時間程度の会合を継続した。この間、厚労省がん・疾病対策課からも可能な限りスタッフの参加を求めた。本年7月あたりからロジックモデルでの検討が議題となり、9~10月あたりで国立がん研究センターにて作成したロジックモデルをたたき台として、がん対策推進協議会での検討が行われた。

ロジックモデルは、様々な政策の策定評価の際に活用されるようになってきており、第8次医療計画や都道府県循環器対策推進計画の策定の際に活用が規定されている。また、がんの分野においても、沖縄県や奈良県などいくつかの県で推進計画の策定にロジックモデルがすでに活用されている。今回、短時間での検討のため精緻さにはかなりの課題が残るが、国レベルでロジックモデルを提示したことで、県レベルでのロジックモデルの活用が格段に進むことが期待できる。

ロジックモデルの活用により、アウトカムを重視すること、測定可能な指標を設定することなどが明確になると思うが、今後、各アウトカムに設定した指標をどのようにモニタリングしていくかが鍵になる。国立がん研究センターがん対策研究所が第4期基本計画の実施、評価に際して、基幹的な働きを担うとともに、一定時間をかけた第5期基本計画の策定のための基盤を構築していきたいと思う。

## JACR NEWS LETTER 「モモコさんと紫本」のLINEスタンプができました!!

### ダウンロード方法

右のQRコードを読み取って、LINEスタンプショップにアクセス頂くか、LINEスタンプショップから「モモコさんと紫本」と検索して下さい。

### 日本がん登録協議会/JACRとは?

がん登録によるがん罹患、死亡、生存率等の情報を提供するとともに、公開セミナーや学術セミナー、調査及び研究、がん登録に関与する人材の育成等を行い、地方公共団体の実施するがん登録事業の充実・発展を支援する事業を通して、国民の保健、医療、療養の増進と、わが国のがん対策の推進に寄与することを目的として活動しています。

### JACR NEWS LETTERとは?

認定特定非営利活動法人日本がん登録協議会が年2回(7月・2月)に発行している刊行物です。日本がん登録協議会が行ったイベント内容の報告記事や、全国のがん登録室の情報など、がん登録に関する知見を広める会報として会員の皆様から好評を頂いています。

※バックナンバーは下記サイトに掲載されています。  
<http://www.jacr.info/publication/publication3.html>

全40種類 120円

LINEスタンプの収益は日本がん登録協議会の非営利事業の寄付金として使用させていただきます。



LINEスタンプショップ

